

業 務 名

銃器・薬物犯罪対策の推進

○業務に関する統計

項 目	統 計 の 推 移				
けん銃発砲事件発生件数	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	単位
	2	0	2	1	件
けん銃押収丁数	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	単位
	12	6	5	12	丁
薬物事犯検挙人員	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	単位
	234	239	210	168	人
覚せい剤押収量	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	単位
	493	613	632	126	g

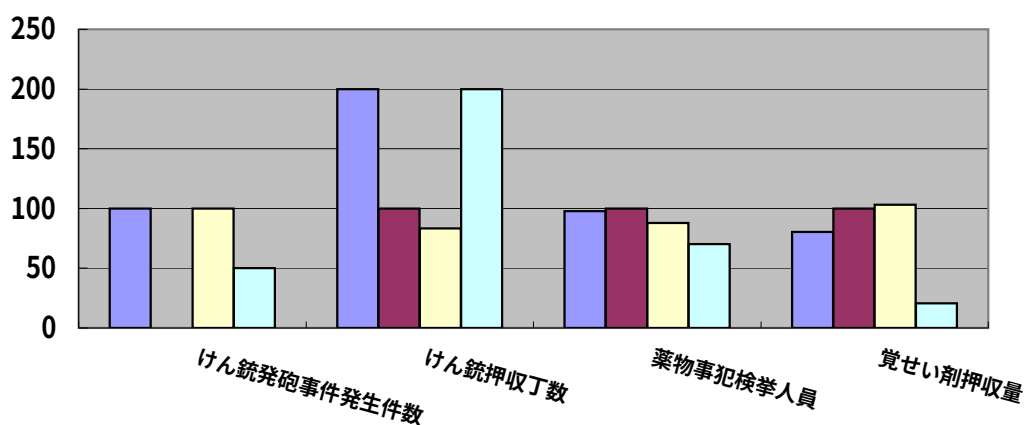
統計の推移

■平成13年

■平成14年

■平成15年

■平成16年



<グラフは平成14年（けん銃発砲事件発生件数は平成13年）を100とする指数で表した。>

○業務の主なコスト

№	事 業 名	平成16年度事業費（千円）	平成17年度事業費（千円）
1	銃器総合対策強化費	1,912	2,025
2	薬物事犯対対策費	174	208
3			
4			
5			
6			
7			
8			
合 計		2,086	2,233

○平成16年の取組み

●けん銃発砲事件など銃器使用犯罪に対する県民の不安を解消するため

- ・ 暴力団の武器庫事犯等組織的なけん銃隠匿事犯の摘発強化
- ・ 税関、海上保安庁等との連携によるけん銃密輸・密売事犯の摘発強化
- ・ 銃器捜査力の強化

など各種対策を推進した結果、平成16年には暴力団幹部等からけん銃12丁（前年比＋7丁）を押収した。

●薬物犯罪組織の壊滅、「第三次覚せい剤乱用期」の早期終息を目指し、

- ・ 暴力団、イラン人等来日外国人による組織的密売事件の検挙
- ・ 税関、海上保安庁等との連携による水際対策の強化
- ・ 末端乱用者の徹底検挙

など各種対策を推進した結果、薬物事犯検挙人員は168人（前年比－42人）と減少したが、千葉県警等との合同捜査により山口組系暴力団による宅配便利用の覚せい剤密売事件を検挙し、同密売組織を壊滅させたほか、北勢・中勢方面を中心に薬物を密売していたイラン人を逮捕し、覚せい剤・大麻樹脂等大量の薬物を押収した。

○課題を踏まえた平成17年の取組み

●薬物・銃器犯罪は、組織的に敢行されることが多く、国際化、広域化が一層進み、犯行の手段・方法の悪質・巧妙化が顕著となっていることから、平成17年4月には、「組織犯罪対策課」として、組織犯罪に係る情報を一元的に管理し、暴力団取締りとも並行して、薬物・銃器取締りを行うこととし、

銃器犯罪については、

- ・ けん銃隠匿事犯の摘発強化
- ・ 税関・海上保安庁等他の取締機関との連携活動の強化
- ・ 県民の理解と協力を確保するための積極的な広報活動

薬物犯罪については、

- ・ 末端乱用者の徹底検挙
- ・ 税関・海上保安庁等他の取締機関との連携による水際対策の強化
- ・ 学校、職場等に対する積極的な広報啓発活動による薬物乱用防止思想の普及

などの各種対策を推進し、県民の安全を確保する。